

## 松田議員要望項目一覧

令和6年度11月補正分

要望項目	左に対する対応方針等
<p>1 ナショナルサイクルルートの指定に向けた機運醸成について            ナショナルサイクルルートの指定を目指して、鳥取うみなみロードの走行環境及びサイクリスト受入環境の整備を進めているところであるが、併せて県内サイクルツーリズム推進の機運醸成を図っていくことが重要であると考えます。</p> <p>本年5月に鳥取県西部の7商工会が連携して地域のブランド化に取り組むプロジェクト「大山時間」が、自転車の活用推進に貢献した人や団体に贈られる国土交通省の「自転車活用推進功績者表彰」を受賞されている。今回の受賞は、「鳥取うみなみロード」のナショナルサイクルルートの指定に向けて追い風となるものであり、今後も地域や関係団体などが連携し、このような取組を全県域に広げるべく、働きかけを強化するよう要望する。</p> <p>併せて、今般10月より期間限定で運行が開始されたサイクルトレインについても、引き続きJRと連携しながら、事業拡大に向け取り組むよう要望する。</p>	<p>令和6年度自転車活用推進功績者表彰を受賞した「大山時間」は、西部7商工会等がサイクルツーリズムを新たなビジネスチャンスと捉え、自転車活用による創業や交流人口の拡大等の広域的な活動が評価されたものであり、「鳥取うみなみロード」のナショナルサイクルルート指定に向けた大きな推進力になり得るものであるため、今後全県に拡げていきたい。</p> <p>また、10月から12月までの期間限定で運行される「鳥取うみなみサイクルトレイン」については、活用実績や利用者の声等を踏まえ、一層の利便性向上に向けて、JR西日本等と連携していく。</p>
<p>2 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に係る施設整備について            本年8月に全国知事会は、開催自治体の負担が課題となっている国民スポーツ大会の見直し案「3巡目国スポの見直しに関する考え方」を日本スポーツ協会に提出し、その中で、施設整備については、「基準が満たす施設がない場合には無理な施設整備を行うことなく、他の都道府県と協議の上、当該競技施設を活用することを基本とする」との考え方を示した。</p> <p>しかしながら、2巡目と3巡目の国民スポーツ大会は切り離して考え、各競技団体からの施設整備に係る要望を丁寧に聞き取り、必要な施設整備については検討を行うことが必要であると考えます。</p> <p>また、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会後も継続して県民に対してスポーツの場を提供し、スポーツを振興していくためにも、必要な施設整備を検討するよう要望する。</p>	<p>現在、3巡目の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会へ向けた見直し議論が行われており、全国知事会では、見直し結果のうち可能なものは2巡目開催県にも適用するよう求めているところである。</p> <p>その見直し結果を踏まえた上で、会場の選定や競技施設の必要な整備等を検討していく。</p>

要望項目	左に対する対応方針等
<p>3 子宮頸がんワクチンについて</p> <p>子宮頸がん予防ワクチンは、子宮頸がん全体の 50～70%の原因とされる2種類（16型・18型）のヒトパピローマウイルス（HPV）に予防効果があると言われており、子宮頸がんの約半分が予防接種により防ぐことができると期待されている。</p> <p>公費で子宮頸がんワクチンを接種できる期間が今年度末までとなっていることから、子宮頸がんワクチンの接種状況を踏まえ、必要に応じたキャッチアップ接種実施期間の延長及びワクチン接種の補助など国に要望しているところであるが、県としても予防接種を希望する者に対する対応を検討するよう要望する。</p>	<p>HPVワクチンのキャッチアップ接種については、令和6年度までの実施とされているため、実施期間を令和7年度以降に延長するよう本県として国に要望し、全国知事会を通じた要望も行ったところであり、今後も機会を捉えて国に働きかけていく。</p> <p>また、キャッチアップ接種については、今年度、県政だよりやSNS等を活用した情報発信を行い、子宮頸がん予防のためのオンライン講演会（11月11日）を開催する等積極的に広報を行うとともに、10月以降の接種スケジュールや2025年3月末までであれば無料で1・2回目接種を受けられること等を含め、国、市町村、関係機関とも連携して制度の周知を行う等、引き続き、接種を希望する方に必要な情報を届けていく。</p>